

(単位：千円)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
歳 入	6,891,492	6,346,052	5,840,032	5,726,323	5,606,768
歳 出	6,793,462	6,402,861	5,981,742	5,973,182	5,891,278
差 引	98,030	△ 56,809	△ 141,710	△ 246,859	△ 284,510
財政調整基金	1,532,255	1,523,097	1,431,387	1,274,528	1,110,018

(3) 古い施設が増えています

現在、建物系公共施設だけでも 451 施設、95,743㎡を保有しており、建築年数 40 年以上の公共施設は約 26% (117 施設) があります。(他に土木系は道路、農林道、企業会計は水道施設、農集排施設があります。) 今後ますます維持補修の費用が増えていきます。

	合計 / 延床面積	件 数
市民文化系施設	5,617.41	19
スポーツ・レクリエーション系施設	9,922.04	81
産業系施設	9,561.06	18
学校教育系施設	33,788.18	96
保健・福祉施設	3,794.32	4
医療施設	179.8	2
行政系施設	8,443.41	22
公営住宅	22,065.83	184
公 園	115.97	6
その他	2,254.93	19
総 計	95,742.95	451

	建物系公共施設	土木系公共施設	企業会計	合計
更新費用 (40 年間総額) : A	404.8 億円	277.6 億円	145.2 億円	827.6 億円
1 年あたり 更新費用 : A ÷ 40	10.1 億円	7.0 億円	3.6 億円	20.7 億円

3. 公共施設の将来見通しについて

(1) 維持費の推移

老朽化が進むにつれて修繕などの費用が増えていきます。右上表より、今後 40 年間で建物系公共施設(451 施設)の更新費用は 404.8 億円 (10.1 億円/年)、公共施設全体では 827.6 億円の費用が見込まれます。

(2) 投資額と維持費

現在も公共施設に投資を続けており、その投資についても今後維持費が発生していきます。投資額を減らしながら、維持費も財源を確保しなければなりません。

(3) 施設の老朽化

今後老朽化した施設が増えて修理代や維持補修費がどんどん増えていきます。錦江町の財政を考えるとすべての公共施設を建て替えることは無理であるため、今ある施設の優先順位付けが避けては通れなくなっています。重要度の高い施設についてはより長く使い続けられるような対策 (50 年以上使える長寿命化) を進めていかなければなりません。

4. 策定にむけて

計画は外部委員会を 9～10 月に開催し、その後パブリックコメントを行い、平成 29 年 3 月までに策定を予定しています。利用促進を図りながら、それでも利用率の悪い公共施設は、計画の方針に基づき廃止、統合、規模縮小を検討しなければなりません。広く住民の方にご理解されるよう広報も行いますのでご意見などありましたらお寄せください。